

教育指導担当

## 校務支援システムの更改及び園務支援システムの導入について

区立小中学校に平成28年度から導入している校務支援システムについて、令和4年度当初から新システムで運用するため、システムの更改を行います。

また、区立幼稚園については、保護者の利便性向上及び教職員の負担軽減のため、園務支援システムを令和4年1月から導入します。

### 1 背景

校務支援システムは、平成28年4月から区立小中学校において成績処理や出欠管理、通知表作成等の帳票出力、指導計画作成等の効率化を図るために導入しています。現行の校務支援システムは令和4年11月に機器保守期限を迎えます。本来であれば令和4年12月から校務支援システムの更改をするところですが、小中学校の学期途中のシステム変更は、教員の負担が大きく、1学期分のデータ移行に係る費用負担も発生するため、今年度内にシステムを構築して令和4年4月から新システムを稼働します。

また、幼稚園については、園務を支援するシステムが導入されておらず、園ごとに独自の形式で園児の出欠席の管理や指導記録の作成を行っているため、各園からは、効率化を図るために園務支援システムを導入することが求められています。

園務支援システムについては、令和3年度中に構築した場合、その費用について、東京都から教育支援体制整備事業費交付金が交付される予定です。そのため、令和3年度中にシステムを構築し、令和4年1月からの稼働を目指します。

### 2 システム構築の方針

GIGAスクール推進事業における1人1台端末及び高速大容量の通信環境の整備が行われ、令和3年5月に文部科学省の教育情報セキュリティポリシーガイドラインが改訂された結果、校務系システムと学習系システムともにアクセス制限を前提としたクラウドでの構築が可能になっています。

教育委員会では現在、文部科学省のGIGAスクール推進事業に伴い、児童・生徒1人1台のタブレット端末を配備し、教員にも端末の配備を行っています。こうした中、校務支援システム及び園務支援システムについては、アクセス制限を前提にしたクラウドでのシステム利用を進めていく方針です。

### 3 概要

#### (1) 校務支援システムの更改

教員に配備したタブレット端末からのアクセスを可能にし、教室や自宅でも出欠確認等の校務を扱うことができるようにします。

#### (2) 園務支援システムの導入

幼稚園ごとに異なっていた指導記録等の書式を統一して管理することが可能になります。また、保護者が専用アプリからアクセスし、園からの日誌の確認や欠席連絡ができるようにします。

### 4 経費

項目	構築でかかる費用	その後保守でかかる費用 (5年間)
校務支援システム	4,906万円	1億7,745万2千円
園務支援システム	2,066万9千円 (1,200万円)	2,601万5千円

※カッコ内は東京都補助金（教育支援体制整備事業費交付金）で内数

### 5 スケジュール（予定）

令和3年 9月	令和3年第3回港区議会定例会（補正予算）
12月	校務支援システム、園務支援システムの構築開始
令和4年 1月	園務支援システムの稼働開始
4月	校務支援システムの稼働開始